

2024年11月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2024年11月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに回復しているものの、回復のペースは鈍化している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、増加している。輸出は、弱めの動きとなっている。設備投資は、増加している。個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、弱めの動きとなっている。

こうした中で、生産は、弱めの動きとなっている。雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

【前回との比較】

項目	前回	今回
景気判断	緩やかに回復しているものの、回復のペースは鈍化している。	緩やかに回復しているものの、回復のペースは鈍化している。
需要項目	公共投資	増加している。
	輸出	弱めの動きとなっている。
	設備投資	増加している。
	個人消費	物価上昇などの影響を受けつつも、緩やかな増加基調にある。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。
生産	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
雇用	緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

2. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、弱めの動きとなっている。

設備投資は、増加している。

9月短観をみると、2024年度の設備投資計画は、前年を上回っている。製造業を中心に、高水準の企業収益を背景として、能力増強投資を行う先が目立つほか、環境関連投資を行う先もみられている。

個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、緩やかな増加基調にある。

飲食や旅行・観光関連のサービス消費は増加しているほか、高額品の販売も緩やかに増加している。食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて消費者の生活防衛的な動きが強まりつつも、底堅く推移している。乗用車販売は、持ち直しの動きがみられている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

3. 生産

生産は、弱めの動きとなっている。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	横ばい圏内で推移している。
	電炉	横ばい圏内で推移している。
化学		弱めの動きとなっている。
セメント		弱めの動きとなっている。
住設機器		緩やかに増加している。
電気機械		横ばい圏内で推移している。
電子部品		増加が一服している。
自動車		弱含んでいる。

4. 雇用

雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、+3%程度となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、低水準ながらも、このところ増加している。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上